

環境経営レポート

令和5年度

(活動対象期間 令和5年4月～令和6年3月)



小菱商事株式会社

〒103-0011

東京都中央区日本橋大伝馬町2-7

TEL 03-3664-0161

FAX 03-3666-8462



エコアクション21[®]

認証番号 0005637

発行 令和6年6月14日 Vol. 15

1. 企業の概要

1) 事業所名及び代表者名

小菱商事株式会社

代表取締役社長 寺内 字郎

2) 所在地

東京都中央区日本橋大伝馬町 2 - 7

3) 環境責任者

取締役管理部長 宮崎 構

4) エコアクション 2.1 連絡担当者 (E A 2.1 事務局)

総合管理部 管理課 諸星 龍太郎

T E L 03-3664-0161 F A X 03-3666-8462

5) 登録活動の範囲

産業用繊維資材、鉄鋼・線材製品、化成品・合成樹脂の原料・製品、産業機械類の販売

6) 事業の規模 (令和 5 年 3 月期)

従業員 27 名

資本金 10,000 万円

年 商 3,557 百万円

床面積 952.00 平方メートル

2. 環境経営方針

「環境経営方針」

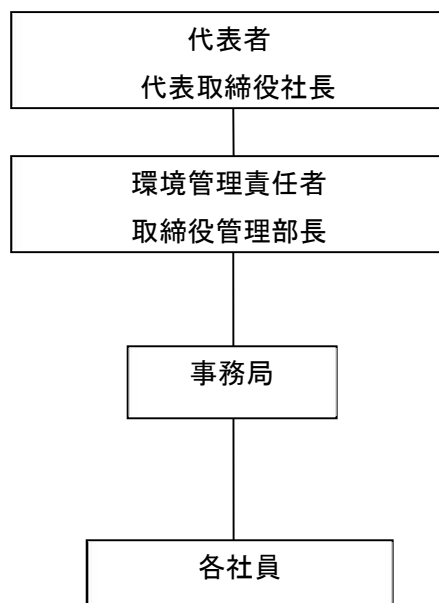
小菱商事株式会社は、商事会社としての社会的責任を自覚し、企業活動を行うにあたり、地球環境の保全および限りある資源の有効利用に努め、持続的継続を目指し質的向上を進めていきます。

小菱商事株式会社は、お取引をいただく全てのお得意様に原料から製品までを提供する企業活動において、地球環境への関わりを認識評価し、下記の通り行動方針を定め全従業員に周知し、全員参加で取り組む事とします。

1. 地球温暖化防止のためエネルギー使用量の削減に努めます。
2. 節水等省資源に努めます。
3. 廃棄物の発生を抑制し廃棄物のリサイクル化を図ります。
4. 環境に関する法規制および行政の環境施策を遵守し、環境保全に努めます。
5. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

令和 6 年 4 月 1 日
小菱商事株式会社
代表取締役社長 寺内 字郎

3. 実施体制 & 役割分担



区 分	役割・責任・権限
代表者	・ 環境経営方針を定める ・ 環境管理責任者を指名 ・ E A 21 活動に関する、資源（人材・資金）を用意 ・ システムの見直しの指示
環境管理責任者	・ システムの実行総責任者 ・ システムの実績・経過を代表者に報告 ・ システムの見直しをする為の資料のまとめ ・ 環境経営目標・環境経営活動計画の見直し ・ 代表者へ活動報告と改善提案
事務局	・ 環境経営目標の立案 ・ 環境経営活動計画の立案 ・ 文書作成、管理 ・ 環境教育の実施 ・ 環境経営活動の実績管理 ・ 環境経営活動の監視・評価
各社員	・ 作業教育の実施 ・ 活動の実施と運用

4. 令和5年度環境経営目標（3ヶ年計画）

大項目	項目名	令和5年度	令和6年度	令和7年度
(1) 二酸化炭素削減	電力消費量削減	使用量把握	使用量把握	令和6年度実績を基準に目標設定
	車両燃料消費量	令和4年度対比 燃費0.05%向上	令和4年度対比 燃費0.5%向上	令和4年度対比 燃費0.5%向上
	二酸化炭素排出量削減	使用量把握	使用量把握	令和6年度実績を基準に目標設定
(2) 廃棄物削減	業務効率向上の為に コピー用紙投入量の削減	令和4年度比 0.38%削減	令和4年度比 0.77%削減	令和4年度比 1.15%削減
(3) 廃棄社内在庫の削減	廃棄社内在庫の削減	令和4年度比 0%削減	令和4年度比 0%削減	令和4年度比 0%削減

5. 環境経営活動計画の取組

	環境経営目標	活動計画 ー具体施策ー
1	電力消費量の削減	① 必要のない場所の消灯・空調OFF ② 事務所に温・湿度計を設置 ③ サーキュレーターで空気を循環させる ④ 室内温度の夏28℃・冬22℃ ⑤ 時間帯・外気温・湿度に合わせた空調設定。こまめな温度調整。 ⑥ 夏と冬でエアコンの風向きを変える ⑦ 暖房便座の蓋を必ず閉める ⑧ PC電源管理・帰宅時コンセントを抜く
2	車両燃費消費量の削減 （燃費の向上）	・ハイブリッド車の投入 ・車両の燃料使用量と走行距離のチェック ・エコドライブ推奨による燃費向上を図る ① ふんわりアクセル ② 加減速の少ない運転 ③ エアコンの使用は適切に ④ 空気圧チェック ⑤ 不要物を積まない
3	業務効率向上の為にコピー用紙 投入量の削減	① ペーパーレス ② 裏紙使用 ③ 両面・集約印刷の実施 ④ 印刷が必要なのか考える ⑤ プロジェクター導入(会議時使用)
4	廃棄社内在庫の削減	① 廃棄物の中の一般と社内在庫を切り分ける ② 社内在庫数量の最適化を把握する

6. 環境経営目標の実績とその評価

	項目	単位	基準 (令和4年度)	目標 (令和5年度)	実績 (令和5年度)	達成状況 (目標比)
1	電力消費量の削減 評価 5%許容	KWH	23,745	使用量把握	32,334	— (新ビル移転の為)
2	車両燃料消費量の削減 (燃費の向上) 評価 5%許容	km/ℓ	17.68	17.77	18.76	○ 105.57%
3	業務効率向上の為のコピー用紙投入量の削減 評価 5%許容	枚	130,000	129,500	129,500	○ 目標達成
4	廃棄社内在庫の削減	t	0	0	0	○ なし
5	二酸化炭素排出量の削減 評価 5%許容	Kg - CO2	16,745	使用量把握	18,156	— (新ビル移転の為)

- 評価基準 増加目標 95%以上・・・○ 94%以下・・・×
削減目標 105%以下・・・○ 106%以上・・・×
- 電力のCO₂排出係数については、0.376kg-CO₂/kwh(実排出係数)を使用
- 二酸化炭素の排出削減項目について
当社では、電力、ガソリン、都市ガスが二酸化炭素排出要件になります。
- ガソリンについては、営業活動に於いて仕事量が増加すると使用量が増加するが、車両燃費の原単位の管理に取り組んでいます。

7. 次年度の取り組み内容

	活動計画 ー 具体施策 ー
令和5年度より継続して使用量を把握 節電の具体施策は継続して取り組む	① 必要のない場所の消灯・空調OFF ② 事務所内に温・湿度計を設置 ③ サーキュレーターで空気を循環させる ④ 室内温度の夏28℃・冬22℃ ⑤ 時間帯・外気温・湿度に合わせた空調設定。こまめな温度調整。 ⑥ 夏と冬でエアコンの風向きを変える ⑦ 暖房便座の蓋を必ず閉める ⑧ PC電源管理・帰宅時コンセントを抜く
令和5年度の実績を踏まえて 車両燃料消費量の削減に取り組む	・ハイブリッド車の導入/適切な時期の買替え ・車両の燃料使用量と走行距離のチェック ・燃料使用量の累計を記録 ・エコドライブ推奨による燃費向上を図る ① ふんわりアクセル ② 加減速の少ない運転 ③ エアコンの使用は適切に ④ 空気圧チェック ⑤ 不要物を積まない
令和5年度の実績を踏まえて 業務効率向上の為のコピー用紙投入量の削減に取り組む	① ペーパーレス ② 裏紙使用 ③ 両面・集約印刷の実施 ④ 印刷が必要なのか考える ⑤ プロジェクター導入(会議時使用)
引き続き廃棄社内在庫の削減に取り組む	① 一般廃棄物と廃棄社内在庫の区別の厳格化 ② 社内在庫数量の適正化

8. 環境関連法規制への違反、訴訟等の有無

	該当する環境関連法規	義務事項	遵守評価
1	下水道法	・油、有害物質は流さない	違反なし
2	一般廃棄物	・行政分別指導により実施	〃
3	廃棄物処理法	・産業廃棄物保管場所基準の遵守 ・産業廃棄物委託契約の締結 ・産業廃棄物マニフェストを収集運搬/処分委託業者へ 交付し回収する ・マニフェストの前年度交付状況の報告(知事)	〃
4	化学物質 (RoHS 指令・REACH 規則)	・営業に確認	〃
5	家電リサイクル法	・買替時にリサイクル料の支払い	〃
6	自動車リサイクル法	・買替時にリサイクル料の支払い	〃
7	都民の健康と安全確保に関する条例	・エコドライブ ・アイドリングストップ	〃
8	中央区廃棄物の処理及び再利用に関する条例	・廃棄物の減量 ・廃棄物の適切な処理	〃
9	フロン排出抑制法	・簡易点検 ・目視確認	〃

※ 環境関連法規制の遵守評価の結果問題ありませんでした。

なお、過去3年間にわたり関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟・苦情もありませんでした。

9. 活動の推移

	項目	単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
1	電力消費量の削減	KWH	39,470	23,745	32,334
2	都市ガス消費量の削減	m ³	※186	0	0
3	車両燃料消費量の削減 (燃費の向上)	km/ℓ	17.75	17.68	18.76
4	業務効率向上のための コピー用紙投入量の削減	枚	130,500	130,000	129,500
5	二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO ₂	24,544	16,745	18,156
6	一般廃棄物排出量の削減	ℓ	※10,815	※測定不可	4,295
7	産業廃棄物排出量の削減	t	0	0	3.85
8	総排水量の削減	m ³	※258	※155	139

電力の CO₂ 実排出係数 0.376kg-CO₂/kwh を使用

実績値※印 維持項目

令和4年度及び令和5年4月から9月迄の一般廃棄物については仮事務所のビル管理会社の清掃会社が回収の
為、測定不可。したがって、令和5年度実績は10月から3月迄の期間の集計となります。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

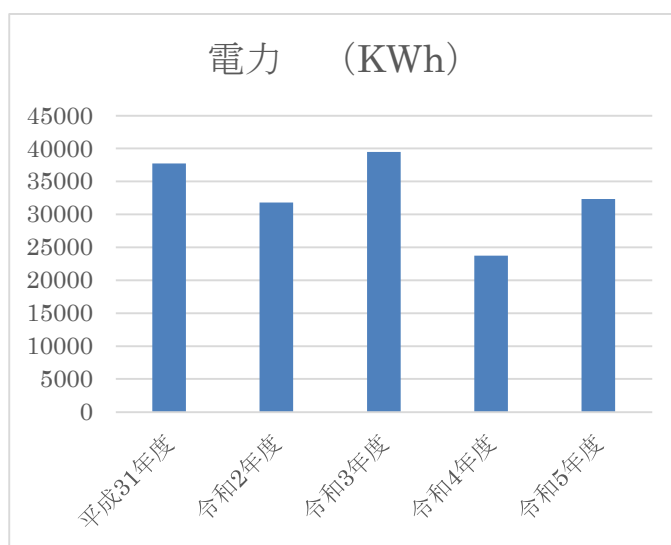
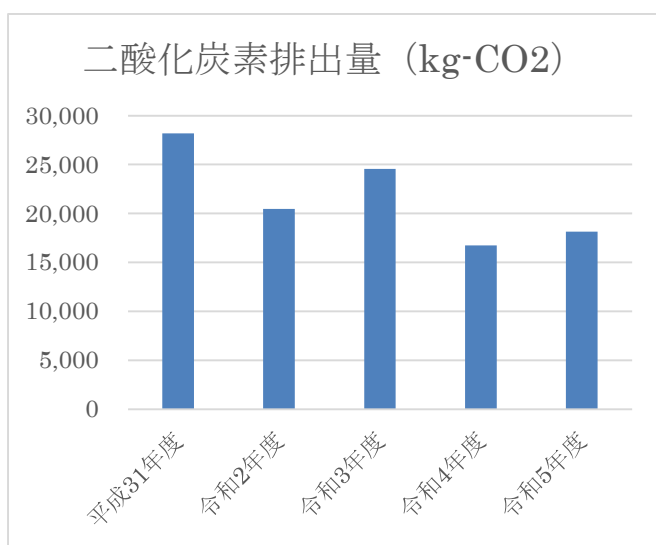
	項目	見直しの有無	評価コメント
1	環境経営方針	なし	環境経営方針は継続とする。
2	環境経営目標	あり	令和 5 年度は期中に社屋の建替えによる移転あり。通期を新社屋で過ごす令和 6 年度の実績を、翌年以降の基準とするため、改めて令和 6 年度を数値把握のための年とする。
3	環境経営活動計画	なし	環境経営活動においても的確な計画を立て誠実に遂行を継続する。
4	代表者の全体評価	－	令和 5 年 10 月に新社屋での営業活動を開始。 使用する電気、水の量は観測の期間となるがこれまで行ってきた節電・節水、および紙の節約等は継続して行うことができた。とりわけ節電に関しては、各階各部屋の照明、エアコンのスイッチに消し忘れを防止するためのシールを貼って呼びかけを行ったため、未使用時の消灯、電源 OFF を徹底することができたと評価している。 昨年度に比べ営業車の燃費が向上した。荷物運搬用の車種を売却し新たなエコカーを導入した効果の表れかという受け止めをしており環境配慮活動の一環として評価できる。各運転者の心がけによる燃費の向上には限界がある為、適切なタイミングで営業車を入替えて燃費性能の高い自動車を使用できる環境を維持していきたい。 取引先との面談等の中で、再生原料及びこれを使用した商品が話題に挙る機会が増加している。目立った量産実績等には結びついていないが、世間の潮流・需要に追従できるよう社員教育の機会を増やしたい。

11. 活動トピックス

1) 節電

令和5年4月から9月にかけては仮事務所での無理のない節電を継続。10月からは新社屋に場所を移し、新たな環境での事業活動を開始しました。フロア数、設備数が異なるため比較はできませんが、方針は変えず無理のない節電を心掛けました。設備の使用に関しては、照明のスイッチ、エアコンのスイッチに消し忘れを防ぐためのシールを貼って無駄な電力消費がないよう努め、これにより無意識下でも徹底できる程度浸透してきたように感じられます。

電力消費量、二酸化炭素排出量の令和5年実績をみますと令和4年比で増加となっておりますが、10月からの事務所移転によるものです。令和6年度は令和5年度同様目標数値は未設定としていますが、引き続き現有設備にて可能な範囲で節電を心掛けてまいります。新社屋で通期を過ごす初めての年度となりますので、これをベンチマークとする令和7年度より目標数値を設定して活動に取り組む予定です。



電力の CO₂ 実排出係数 **0.376kg-CO₂/kwh** を使用

2) 営業車の運用見直しとエコカーの購入

営業車の燃費の向上に関して、昨年(令和4年度)の営業車の稼働率を精査したところ4台同時に稼働する頻度が著しく低く、3台でも運用に支障がないとの判断から、営業車を1台削減し3台体制としました。体制を変更する過程で、平成29年に購入したホンダフィットおよび令和2年に購入したトヨタタウンエースを売却し燃費性能の高い新型のホンダフリードを導入。タウンエースは納品対応など、運搬用途での使用をイメージして導入したものでしたが実際にはそのような使用が少なく、またフリード等の車種でも同様の対応ができる場合が多いことから、より環境に配慮した車種への入替を行いました。

これらの見直しにより営業車を使用する必要があるかを考えたうえでの使用が心掛けられたこと、全車種が燃費性能の高いものとなったことにより「ガソリンの使用量」の削減、「燃費」の向上を達成することができました。

* 営業車台数の削減 / 新車の購入



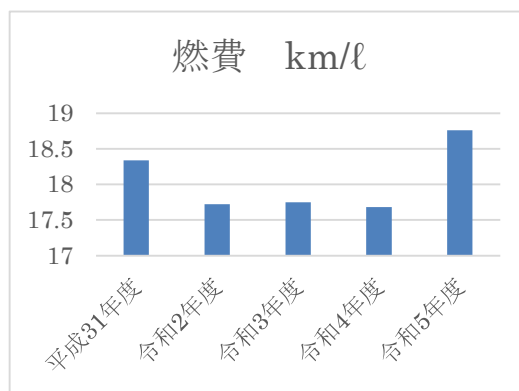
(令和3年10月購入)



(令和4年10月購入)



(令和5年12月購入)



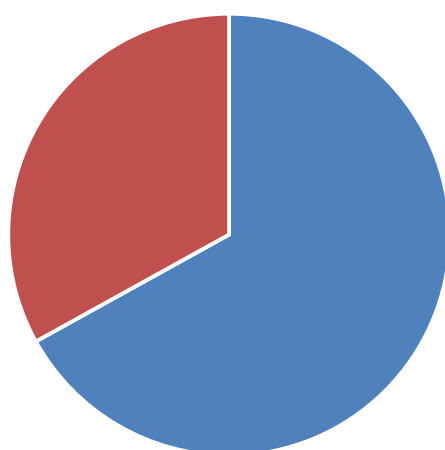
3) 地域クリーン活動

環境美化への取り組みとして毎年5月30日（ごみゼロの日）に近い日曜日に町会による区内の一斉清掃（クリーンデー）に参加しております。令和5年5月、令和6年5月にも参加させていただき町会内の参加者と交流しながら地域の環境美化のため取り組みました。



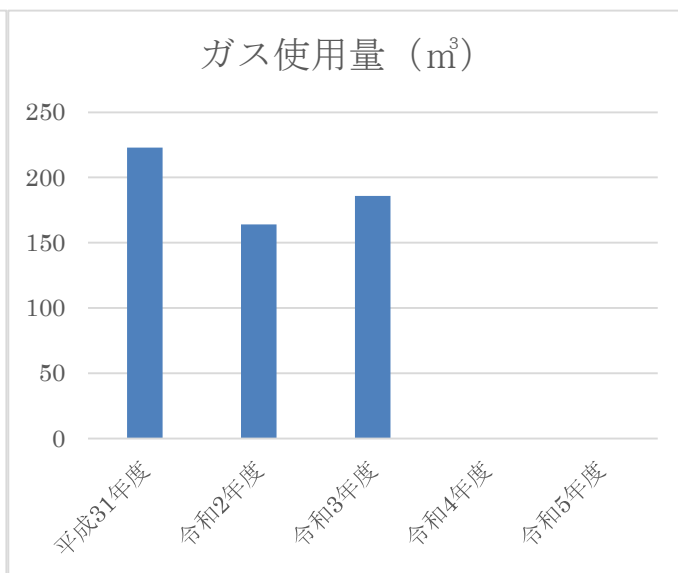
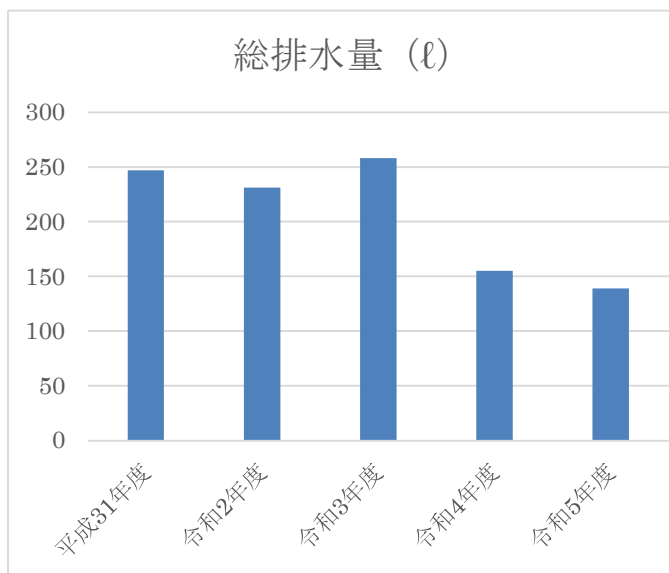
【当社の二酸化炭素排出量と構成】

令和5年度 二酸化炭素排出量 18,156kg-CO₂

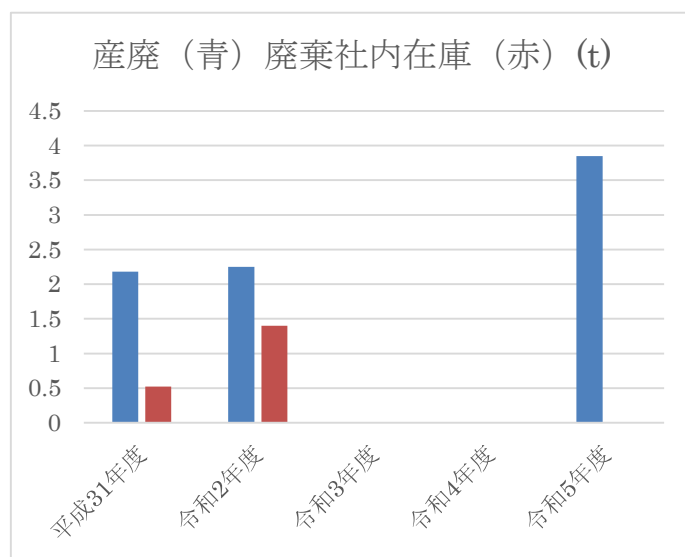
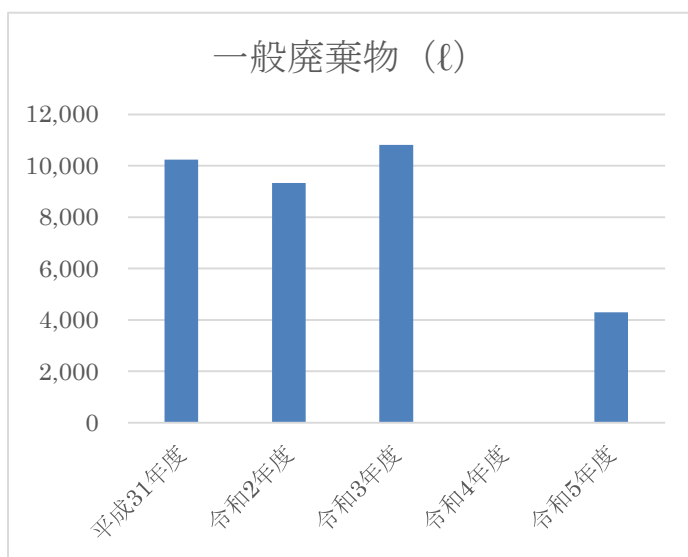


■ 電気 12,157kg-CO₂ ■ ガソリン 5,998kg-CO₂ ■

電力の CO₂ 実排出係数 0.376kg-CO₂/kwh を使用

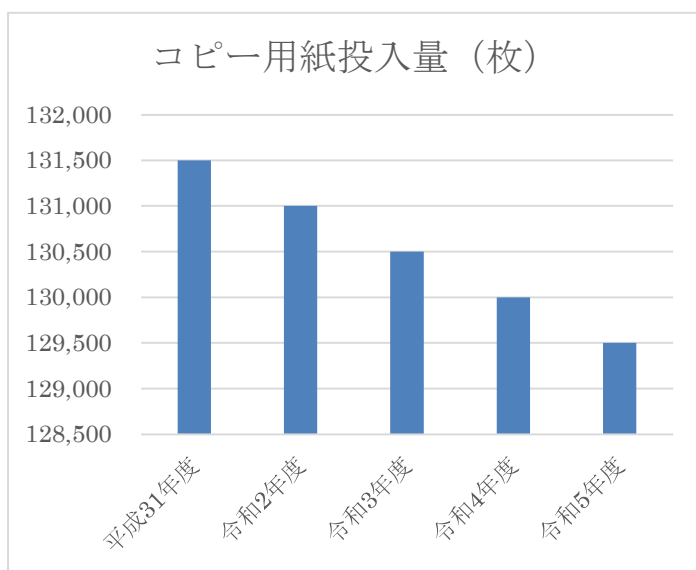


※令和 4 年からガスの使用を廃止



※令和 5 年は 10 月以降新社屋での実績(約 6 ヶ月)

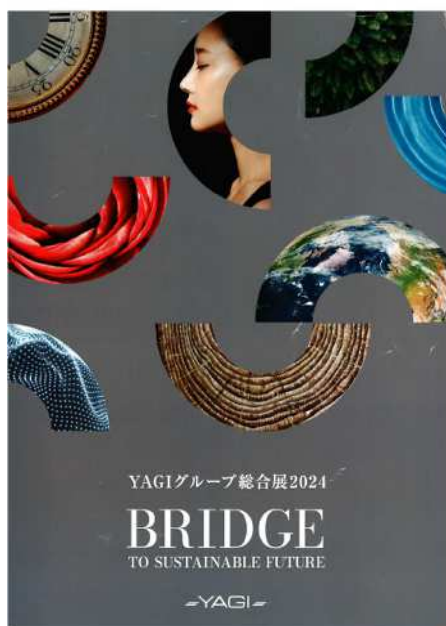
※平成 30 年・令和 3 年・令和 4 年産廃なし



4) 持続可能性を意識した事業活動を行うための取り組み

昨今、SDGsをはじめ持続可能性を意識した環境への取り組みを行う企業が急激に増加しているなか、工業材料の領域では環境配慮と要求コストが結びつかない案件が大半を占めている印象です。とはいえ今後は環境配慮型の原材料やこれを使用した製品のニーズが増加、或いはマスト化していくだろうと思われます。これを踏まえて取引先の企業が開催する展示会等に参加し、サステナブルな原材料から生産された繊維素材など環境配慮を意識した素材について学ぶ機会を増やしております。

弊社の利益を追求するなかで、地域・国・地球の環境においても利益が生まれるような案件があれば積極的に取り組み、循環する社会へ貢献できるよう取り組んでまいります。



5) 教育実績の記録

前項でも触れた学びの機会に関して、自然環境の保全等に直接的に寄与するもの以外にも地域環境、職場環境、社会環境の改善など広く環境改善につながる社員教育の機会を増やすことを意識的に取り組みました。弊社においては、営業部門における営業実績の改善及び向上、管理部門においては社内環境の改善、法令の変化への対応、優秀な人材の採用・確保・教育などを目指した教育の中で、環境改善の教育も実施しています。

記録期間 令和5年4月～令和6年6月(本表作成時)

部門	実施日	内容	主催	参加者
営業部門	2023/4/13	営業力強化プログラム	帝国データバンク	木村
	2023/5/22	営業力強化プログラム	帝国データバンク	木村
	2023/6/20	営業力強化プログラム	帝国データバンク	木村
	2023/7/24	営業力強化プログラム	帝国データバンク	木村
	2023/8/21	営業力強化プログラム	帝国データバンク	木村
	2023/9/25	営業力強化プログラム	帝国データバンク	木村
	2024/4/2	新入社員セミナー	明治安田生命	織野
	2024/4/2	新入社員セミナー	明治安田生命	樫川
	2024/4/4	新入社員ビジネスマナー研修	日本橋法人会	織野
	2024/4/4	新入社員ビジネスマナー研修	日本橋法人会	樫川
	2024/4/26	YAGIグループ総合展	ヤギ	寺内 西山 中山 木村
管理部門	2023/9/7	改正税法等説明会	日本橋法人会	宮崎
	2024/2/27	決算法人説明会	日本橋法人会	宮崎
	2024/3/21	インボイス講習開始後初めての決算の為のセミナー	日本橋法人会	宮崎
	2024/5/13	源泉所得税定額減税研修会	日本橋法人会	石川
	2024/5/28	新規学卒求人申し込み説明会	ハローワーク飯田橋	石川

*** 次回活動レポートの発行予定・・令和7年6月**

以上